

令和7年

# 水難事故のあらまし

～令和6年中の水難事故と救助活動状況～



岐阜県警察本部

## 目 次

第 1	水難事故の発生状況	
1	概況	1
2	過去 10 年間の発生状況	2
3	月別発生状況	3
4	曜日別発生状況	4
5	場所別発生状況	4
6	年齢別発生状況	5
7	態様別発生状況	6
8	原因別発生状況	7
9	居住地別事故者	7
10	子ども（中学生以下）の事故発生状況	8
11	高齢者（65歳以上）の事故発生状況	9
第 2	水難救助活動の状況	
1	出動状況	10
2	救助訓練実施状況	10
3	救助活動事例	11
4	小型船舶操縦士の養成	12
第 3	その他	
1	水上バイク等の事故防止対策	12
2	広報活動	12

### 表 紙

写真：長良川で遊ぶ子どもと水難防止広報活動

# 第1 水難事故の発生状況

## 1 概況

[令和6年中の岐阜県内における水難事故の発生状況]

発生件数68件（前年比+11件）、事故者78人（前年比+12人）

[事故者の内訳]

- 死亡 37人（前年比 +9人）
- 行方不明 0人（前年比 ±0人）
- 負傷 3人（前年比 -7人）
- 無事救助 38人（前年比 +10人）

[主な特徴]

- 前年に比べ発生件数・事故者数共に増加。
- 月別では8月の事故者が21.8%（17人）
- 場所別では河川の事故者が87.2%（68人）
- 態様別では魚釣り・魚取り中の事故者が32.1%（25人）
- 年齢別では高齢者（65歳以上）の事故者が37.2%（29人）

[水難事故の発生状況(前年比)]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
令和6年	68	78	37	0	2	1	38
令和5年	57	66	28	0	5	5	28
増減	+11	+12	+9	±0	-3	-4	+10



多くの利用者が訪れる河川



増水した河川

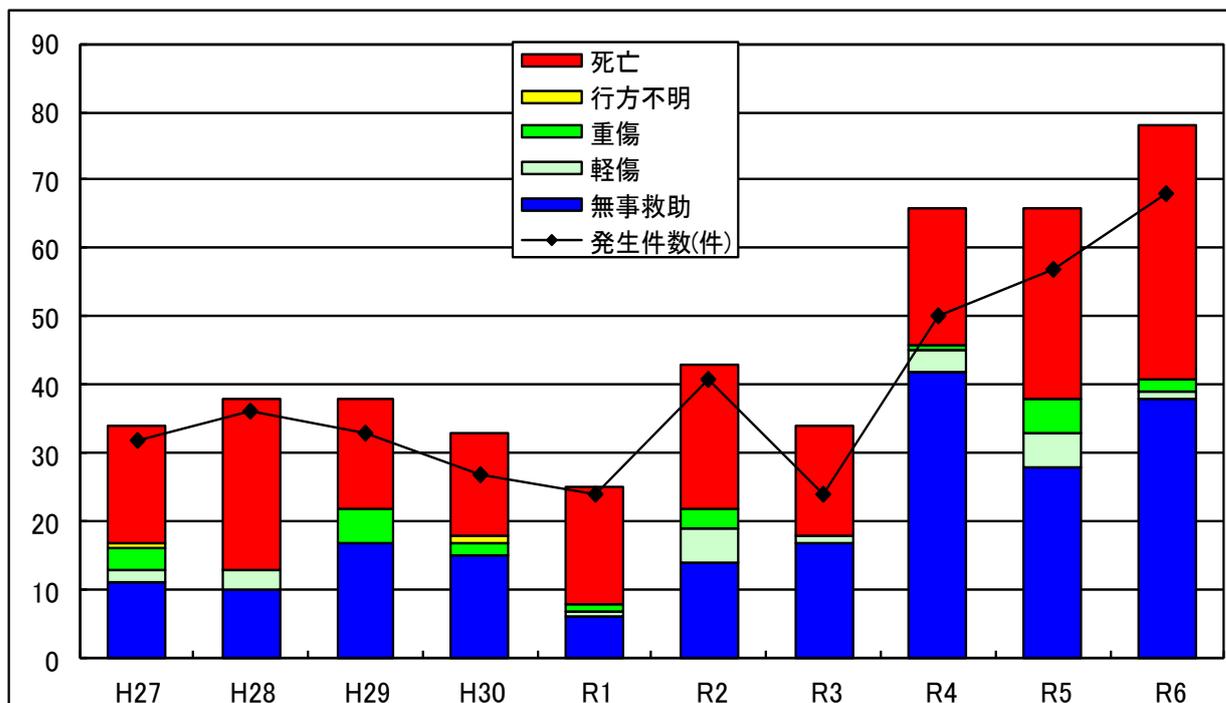
## 2 過去10年間の発生状況

発生件数・死者数ともに、過去10年間で最多となった。

[過去10年の発生状況]

区分 年別	発生件数 (件)	事故者(人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成27年	32	34	17	1	3	2	11
平成28年	36	38	25	0	0	3	10
平成29年	33	38	16	0	5	0	17
平成30年	27	33	15	1	2	0	15
令和元年	24	25	17	0	1	1	6
令和2年	41	43	21	0	3	5	14
令和3年	24	34	16	0	0	1	17
令和4年	50	66	20	0	1	3	42
令和5年	57	66	28	0	5	5	28
令和6年	68	78	37	0	2	1	38

(人)



### 3 月別発生状況

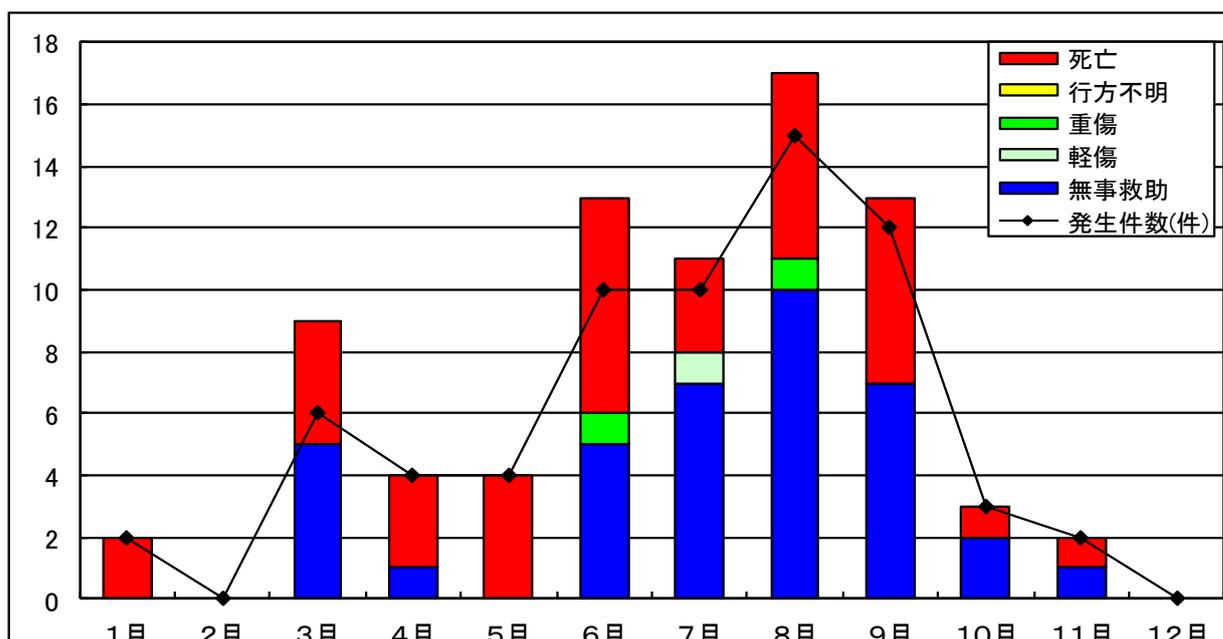
8月の発生が最も多く、発生件数は15件（前年比±0件）で全体の22.1%を占めている。

事故者は17人（前年比－5人）で、内訳は死亡6人（前年比－1人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助11人（前年比－4人）であった。

[月別発生状況]

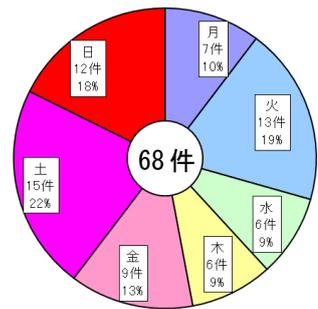
区分 月別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
1月	2	2	2	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3月	6	9	4	0	0	0	5
4月	4	4	3	0	0	0	1
5月	4	4	4	0	0	0	0
6月	10	13	7	0	1	0	5
7月	10	11	3	0	0	1	7
8月	15	17	6	0	1	0	10
9月	12	13	6	0	0	0	7
10月	3	3	1	0	0	0	2
11月	2	2	1	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0	0	0
合計	68	78	37	0	2	1	38

(人)



## 4 曜日別発生状況

土曜日の発生が最も多く、発生件数は15件（前年比+4件）で全体の22.1%を占めている。



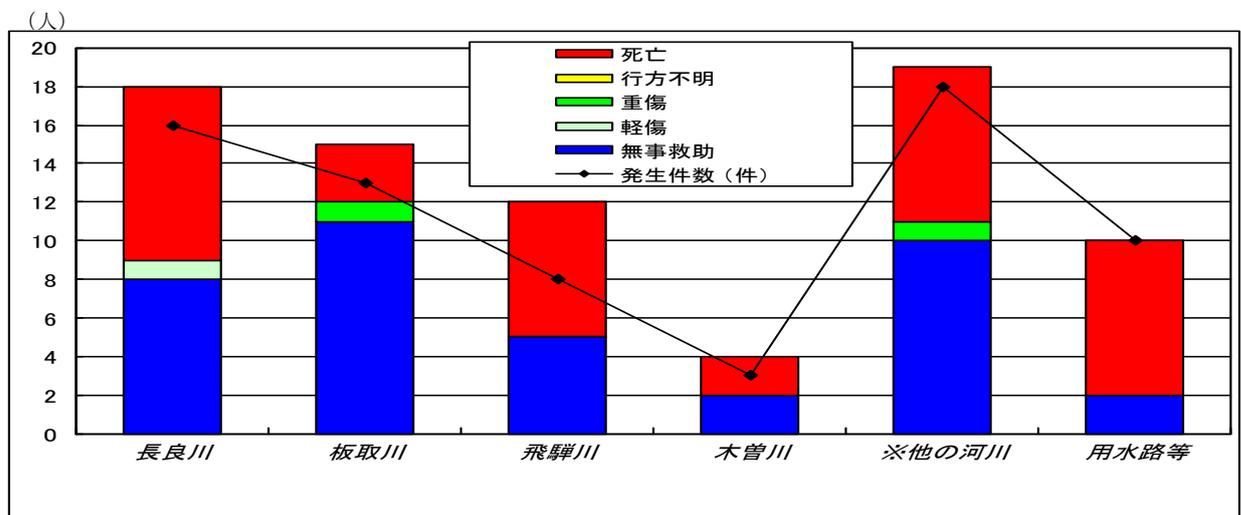
## 5 場所別発生状況

- 河川の事故の発生件数は58件（前年比+10件）で全体の85.3%を占める。
- 事故者は68人（前年比+11人）で、内訳は死亡29人（前年比+8人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助39人（前年比+3人）であった。
- 河川別では長良川の事故が最も多く、発生件数は16件で（前年比+4件）全体の23.5%を占めている。  
事故者は18人（前年比+1人）で、内訳は死亡9人（前年比+4人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助9人（前年比-3人）であった。

[場所別発生状況]

区分 場所別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
河川	58	68	29	0	2	1	36
長良川	16	18	9	0	0	1	8
板取川	13	15	3	0	1	0	11
飛驒川	8	12	7	0	0	0	5
木曾川	3	4	2	0	0	0	2
※他の河川	18	19	8	0	1	0	10
用水路等	10	10	8	0	0	0	2
合計	68	78	37	0	2	1	38

※ 他の河川（川上川、宮川、根尾川、付知川、馬瀬川、武儀川、井尻川、宇津江川、土岐川、新荒田川等）



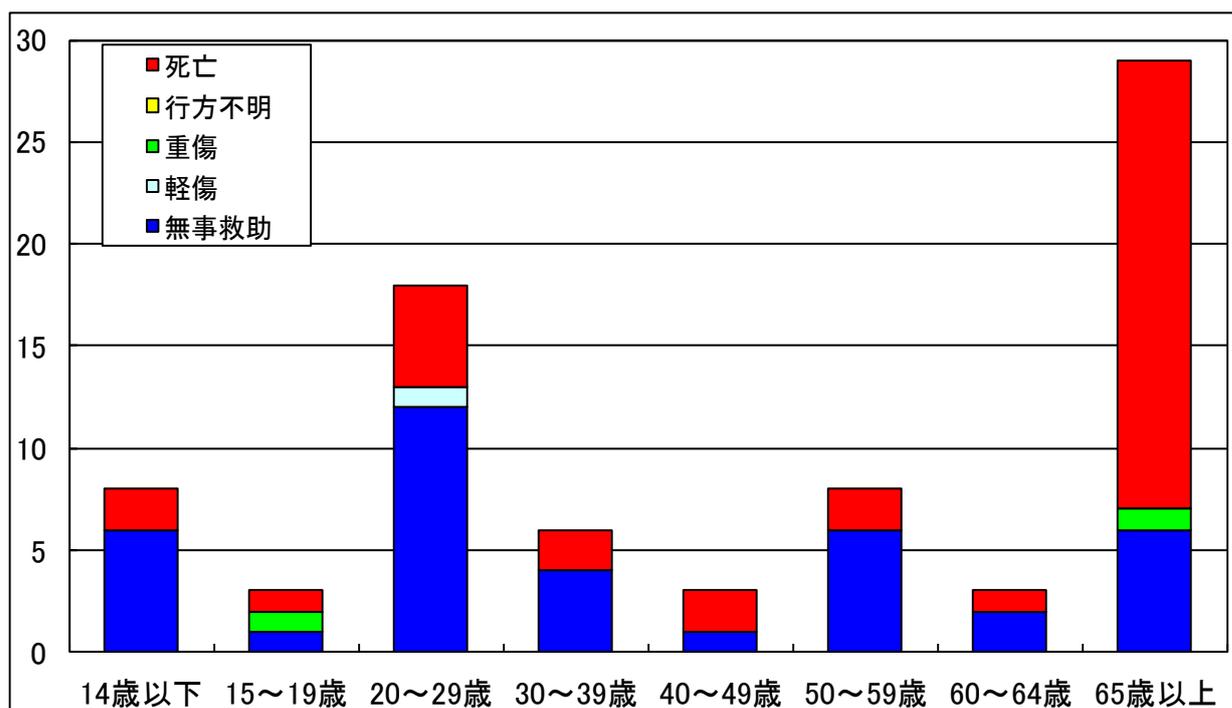
## 6 年齢別発生状況

- 65歳以上の事故者が最も多く、29人（前年比+3人）で全体の37.2%を占めている。
- 14歳以下が8人（前年比-4人）で全体の10.3%、20歳～29歳が18人（前年比+15人）で全体の23.1%、50歳～59歳が8人（前年比-3人）で全体の10.3%であった。

[年齢別発生状況]

区分 年齢別	事故者（人）					
		死亡	行方不明	救助		
				重傷	軽傷	無事救助
14歳以下	8	2	0	0	0	6
15～19歳	3	1	0	1	0	1
20～29歳	18	5	0	0	1	12
30～39歳	6	2	0	0	0	4
40～49歳	3	2	0	0	0	1
50～59歳	8	2	0	0	0	6
60～64歳	3	1	0	0	0	2
65歳以上	29	22	0	1	0	6
合計	78	37	0	2	1	38

(人)



## 7 態様別発生状況

魚釣り・魚取り中の事故が最も多く、発生件数は24件（前年比+6件）で全体の35.3%を占めている。

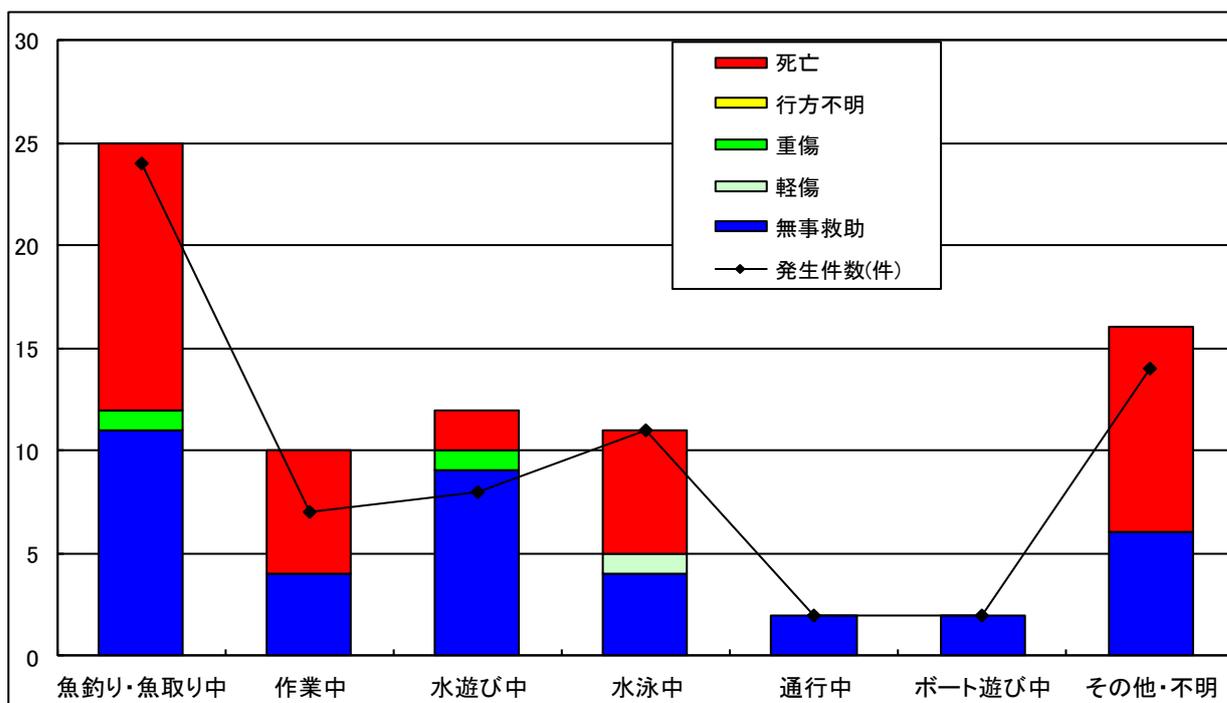
事故者数は25人（前年比+7人）で全体の32.1%を占めている。

[態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚取り中	24	25	13	0	1	0	11
作業中	7	10	6	0	0	0	4
水遊び中	8	12	2	0	1	0	9
水泳中	11	11	6	0	0	1	4
通行中	2	2	0	0	0	0	2
ボート遊び中	2	2	0	0	0	0	2
その他・不明	14	16	10	0	0	0	6
合計	68	78	37	0	2	1	38

態様別：その他（水難救助活動中、陸上における遊戯・スポーツ中等）

(人)



## 8 原因別発生状況

転落・転倒による事故が最も多く、発生件数は24件（前年比+1件）で、全体の35.3%を占めている。

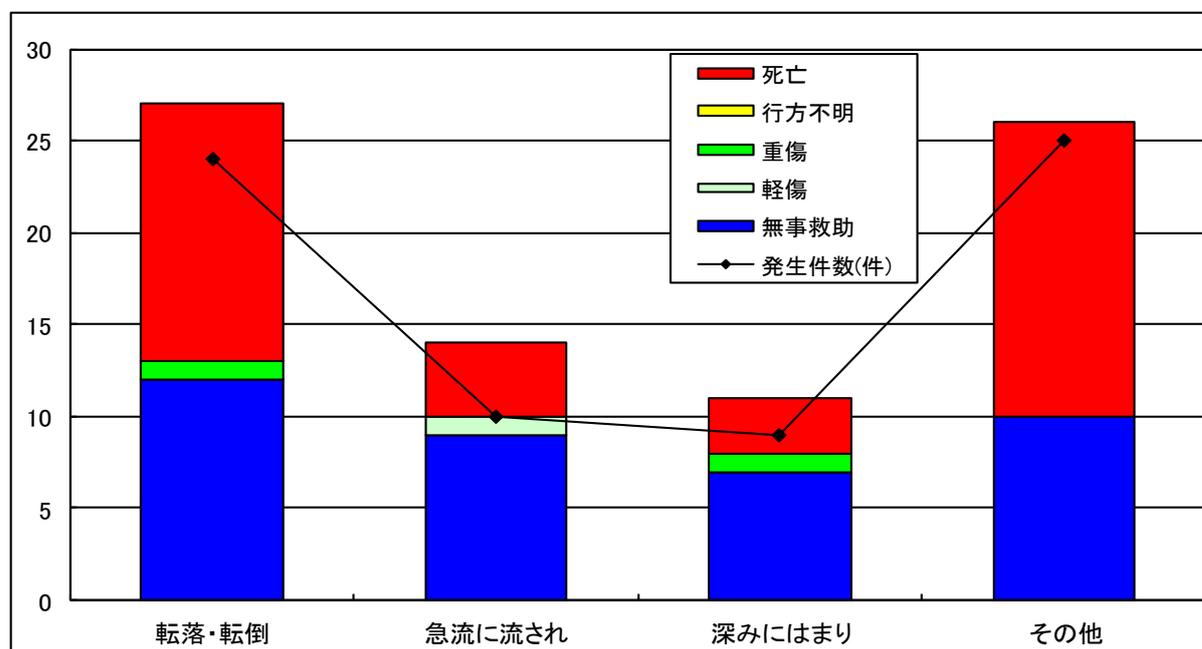
事故者は27人（前年比+4人）で、内訳は、死亡14人（前年比+2人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助13人（前年比+2人）であった。

[原因別発生状況]

区分 原因別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
転落・転倒	24	27	14	0	1	0	12
急流に流され	10	14	4	0	0	1	9
深みにはまり	9	11	3	0	1	0	7
その他・不明	25	26	16	0	0	0	10
合計	68	78	37	0	2	1	38

原因別：その他（増水、飛び込み、病気等）

(人)



## 9 居住地別事故者

居住地別の事故者は、県内居住者が44人、県外居住者34人、うち愛知県居住者は25人で、県内居住者は前年比±0人、愛知県居住者は前年比+7人であった。

## 10 子供（中学生以下）の水難事故発生状況

- 子供（中学生以下）の事故発生件数は7件（前年比－3件）、事故者は8人（前年比－4人）で、発生件数、事故者ともに減少した。
- 事故者の内訳は、死亡2人（前年比±0人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助6人（前年比－4人）であった。
- 発生件数、事故者数ともに昨年から減少した。

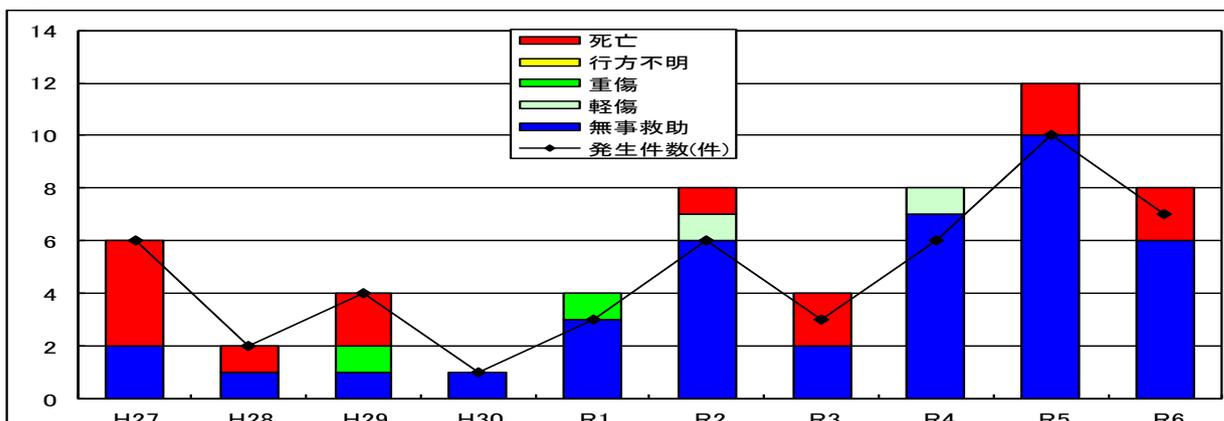
[子供（中学生以下）の態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者(人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
水遊び中	3	4	1	0	0	0	3
ボート遊び中	1	1	0	0	0	0	1
通行中	1	1	0	0	0	0	1
陸上における遊戯	1	1	0	0	0	0	1
不明	1	1	1	0	0	0	0
合計	7	8	2	0	0	0	6

[過去10年間における子供（中学生以下）の事故発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者(人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成27年	6	6	4	0	0	0	2
平成28年	2	2	1	0	0	0	1
平成29年	4	4	2	0	1	0	1
平成30年	1	1	0	0	0	0	1
令和元年	3	4	0	0	1	0	3
令和2年	6	8	1	0	0	1	6
令和3年	3	4	2	0	0	0	2
令和4年	6	8	0	0	0	1	7
令和5年	10	12	2	0	0	0	10
令和6年	7	8	2	0	0	0	6

(人)



## 11 高齢者（65歳以上）の事故発生状況

- 高齢者（65歳以上）の事故の発生件数は29件（前年比+3件）、事故者は29人（前年比+3人）で発生件数、事故者、死者数ともに過去10年間で最多であった。
- 事故者の内訳は、死亡22人（前年比+5人）、行方不明0人（前年比±0人）、救助7人（前年比-2）であった。

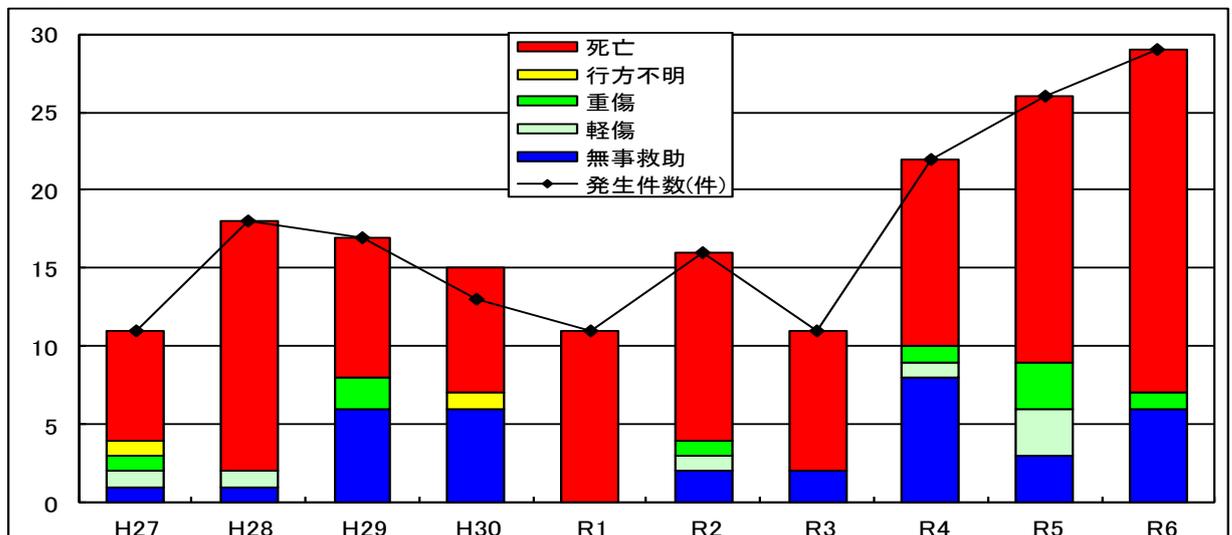
[高齢者（65歳以上）の態様別発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
魚釣り・魚釣り中	18	18	12	0	1	0	5
作業中	6	6	5	0	0	0	1
不明	5	5	5	0	0	0	0
合計	29	29	22	0	1	0	6

[過去10年間における高齢者（65歳以上）の事故発生状況]

区分 態様別	発生件数 (件)	事故者 (人)					
		死亡	行方不明	救助			
				重傷	軽傷	無事救助	
平成27年	11	11	7	1	1	1	1
平成28年	18	18	16	0	0	1	1
平成29年	17	17	9	0	2	0	6
平成30年	13	15	8	1	0	0	6
令和元年	11	11	11	0	0	0	0
令和2年	16	16	12	0	1	1	2
令和3年	11	11	9	0	0	0	2
令和4年	22	22	12	0	1	1	8
令和5年	26	26	17	0	3	3	3
令和6年	29	29	22	0	1	0	6

(人)



## 第2 水難救助活動の状況

### 1 出動状況

- 水難救助活動に、警察官が延べ799人、消防署(団)員が延べ878人出動した。
- 県警・県防災等のヘリコプターが8件、警察・消防の舟艇が12件の事故に出動した。

区 別 年 別	発生件数 (件)	出動人数(人)		ヘリ出動状況 (件数)	舟艇出動状況 (件数)
		警察官	消 防		
令和6年	68	799	878	8	12
令和5年	57	494	608	3	4
増 減	+11	+305	+270	+5	+8

※出動人数は、延べ人数

### 2 救助訓練実施状況

県内には、長良川・木曽川・揖斐川の三大河川をはじめ、ため池や農業用水など数多くある。各警察署では、水難事故に対する迅速的確な救助活動を行うため、機動隊、警察航空隊のほか消防、船舶関係組織と連携した救助訓練を実施した。



機動隊との合同訓練



スローバッグ利用の訓練



遊覧船での訓練



機動隊の潜水訓練

### 3 救助活動事例

水難事故発生時には警察及び消防による救助活動を行った。

また、現場に駆け付けた民間の方による水難救助に対する表彰をおこなっている。



#### ○ 警察・消防救助活動事例

救助活動日	場所	状況
6月29日(土)	七宗町 飛騨川	沢登り中の男女2名が流されて行方不明となった。 警察・消防が捜索し、発見救助するも死亡。
7月7日(日)	岐阜市 長良川	友人らと遊泳していたところ、川の中腹付近で溺れ、 鵜舟の船頭が川底で発見。 消防が救助するも死亡。
9月6日(金)	下呂市 飛騨川	鮎釣り中に曳舟を追いかけて泳いだところ溺れ、消防 が捜索・発見するも死亡。

#### ○ 民間救助功勞事例

救助日	場所	状況
6月8日(土)	美濃市 用水路	用水路に転落した子どもを救助した。
7月30日(火)	美濃市 長良川	河川を水泳横断して急流により流された男性を、発見 し救助した。



関警察署長から感謝状を贈呈 (6月8日救助)



関警察署長から感謝状を贈呈 (7月30日救助)

## 4 小型船舶操縦士の養成

水難事故の発生時において、舟艇を活用した救助活動を迅速的確に実施するため、小型船舶が配備されている警察署や機動隊の警察官を対象とした「二級小型船舶操縦士免許講習」を受講させている。



舟艇操縦訓練

## 第3 その他

### 1 水上バイク等の事故防止対策

- 水上バイクなどが遊泳者や釣り人などの第三者を巻き込むレジャー事故の発生が懸念されることから、河川関係機関と連携し、広報啓発用看板の設置や河川パトロールなどの活動を推進した。
- 水上バイク等による事故件数は3件(前年比+3件)、事故者7人(前年比+7人)であった。



水上バイク利用者への広報（長良川）

### 2 広報活動

各警察署では、春から夏にかけて、河川関係機関と連携し、河川などの危険箇所に対する安全点検やパトロールを行い、釣り人、遊泳者、水上バイク利用者などに対する事故防止広報や安全指導を行った。

また、交番・駐在所が発行するミニ広報紙や、テレビ、ラジオ、SNSなどのメディアを利用した広報啓発活動を展開した。

- 関警察署では、ゴールデンウィーク等の行楽日に長良川美濃橋付近において、中濃消防組合等とともに、ドローンを活用した外国人向け多言語での広報を実施し、バーベキュー客らに対しライフジャケット着用等呼びかけた。



ドローンを活用した広報（長良川）

- 高山警察署では、7月の鮎釣り解禁に合わせ、高山土木事務所や高山市消防等と合同で河川巡視を実施し、釣り客に対し水難事故防止広報グッズ（岐阜県河川課作成）を配付してライフジャケット着用等呼びかけた。



関係機関と連携した水難事故防止活動

- 岐阜県警察本部地域課では、岐阜県県土整備部河川課・海上保安庁・中部運輸局・木曾川上流河川事務所・マリンスポーツ財団と合同で、7月に愛知県内の大型商業施設において、広報啓発活動を実施した。



愛知県内商業施設での広報

- 岐阜中警察署・岐阜北警察署では、例年事故が発生する長良川河畔において、遊泳客やバーベキュー客に対して河川の危険性について注意喚起する等、水難事故防止広報を実施した。



河川敷での水難事故防止広報（長良川）

- 北方警察署では、本巣市内の根尾川において、児童のみでの遊泳をしないことや、ライフジャケットを着用・危険看板設置個所での水遊びの危険性など、河川の安全利用広報啓発活動を実施した。



夏休み期間の河川敷広報（根尾川）

- 加茂警察署・可児警察署では、漁協組合と合同で、多くの釣り客が集まるクオーレ道の駅、東白川道の駅において、鮎釣りにおけるライフジャケットの着用を訴えて水難事故防止広報を実施した。



道の駅における広報（東白川道の駅）

- 中津川警察署では、8月に付知川沿いのキャンプ場で、利用客に対し、ライフジャケット着用や河川の横断遊泳の危険性を呼びかける広報啓発活動を実施した。



キャンプ客に対する広報（付知川）

- 郡上警察署では、市立八幡小学校のPTAと合同で危険箇所の把握、児童・生徒及び保護者に対する注意喚起を主とした広報啓発活動を実施した。



見守り活動と水難広報（郡上市）

- 岐阜県警察本部では、Youtube による水難事故防止広報を継続して実施している。



岐阜県警公式 YOUTUBE チャンネル



RAI(ライ)      REN(レン)



岐阜県警察ホームページ

令和7年3月発行

発行 岐阜県警察本部